

8

7

昭和十年三月

一國ヨリ他國へ移住スル労働者ノ爲ノ癱疾、老
齡及寡婦孤兒保險ニ基ク取得ノ中途ニ在ル權利
及既得ノ權利ノ保全ニ關スル質問書及其ノ説明



社
會
局

日本労働科学研究所

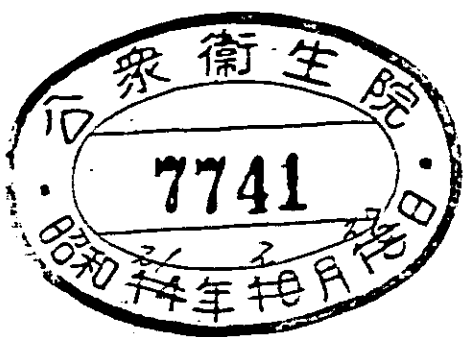
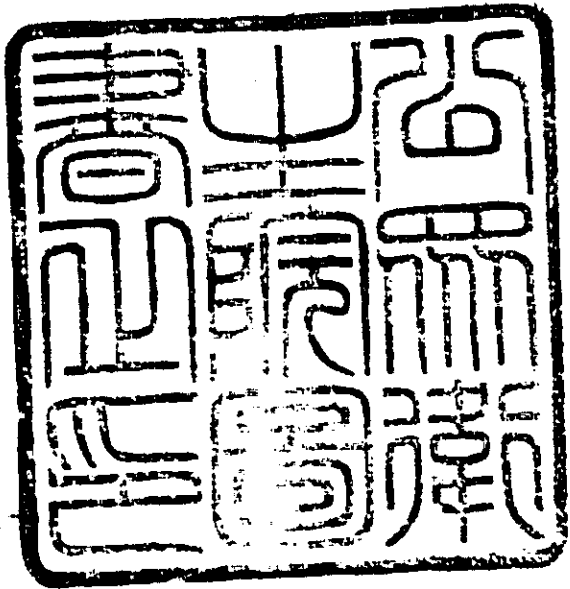


10012121

昭和十年三月廿日
川上理一先生
寄贈
厚生省研究所

8

7



一國ヨリ他國へ移住スル労働者ノ爲ノ廢疾、老
齡及寡婦孤兒保險ニ基ク取得ノ中途ニ在ル權利
及既得ノ權利ノ保全ニ關スル質問書及其ノ説明

一、緒言

第十八回國際労働總會ハ千九百三十四年六月二十二日其ノ第二十二次會議ニ於テ九十九票對零ヲ以テ
左記ノ問題ヲ第二次討議ノ爲翌年度總會ノ議題ニ上程スルコトニ決定セリ

二國ヨリ他國ニ移住スル労働者ノ爲ノ廢疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ基ク取得ノ中途ニ在ル權
利及既得ノ權利ノ保全

右ノ決定ハ第十八回總會ノ第一次討議ノ爲國際労働事務局ノ作成セシ準備報告書(灰色報告書)ノ
付託セラレタル委員會ガ總會ニ提出セシ報告書及結論案ノ採擇ニ次ギテ行ハレタリ

第十八回總會ニ依リテ採擇セラレタル結論ニ基キ事務局ハ總會議事規則第六條第六項ニ從ヒ、一九
三五年第十九回總會ニ於テ行ハルベキ第二次討議ニ於ケル國際規律(條約案)ノ審議ニ役立つベキ質問
書ヲ作成セリ右質問書ハ諸國政府ノ審議及回答ノ爲本冊子ノ第三章ニ掲載セララル

諸國政府ノ回答作成ノ手引トシテ本小冊子ノ第二章ハ第十八回總會ノ關係委員會ノ報告書及結論案ヲ掲載シ尙又總會ノ本會議ニ於テ此ノ報告書及結論案ニ付テ行ハレタル討議ニ付簡單ニ記載ス

右質問書ニ對スル諸國政府ノ回答ニ基キ事務局ハ總會ノ議事規則第六條第七項ニ從ヒ最終討議及決定ノ爲第十九回總會ニ提出スベキ最終報告書(青色報告書)ヲ作成スベシ

一、第十八回總會ニ於ケル討議

い—第十八回總會ニ提出セシ年金權保全委員會ノ報告書

緒言

總會ハ其ノ第十七回會議(一九三三年)ニ於テ癡疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ關スル六條約案ヲ採擇セリ其ノ中三條約案ハ工業的企業又ハ商業的企業ニ使用セラルル者、自由職業ニ使用セラルル者竝ニ家内勞働者及家庭使用人ノ爲ノ癡疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ關スルモノニシテ他ノ三條約案ハ農業的企業ニ使用セラルル者ノ爲ノ癡疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ關スルモノナリ

是等六條約案ハ規律ノ範圍、給付、財源、保險機關、爭議ノ解決、外國人ノ地位等ニ關スル諸規定ヲ包含ス然レドモ移民勞働者ノ權利ノ保全ニハ觸レズ

千九百三十三年度總會ハ諸國政府ヘノ諮問ニ依リ得タル資料ノ未ダ不充分ナルヲ認メ事務局ノ提案

ニ從ヒ年金權保全ノ問題ノ研究ヲ翌年度總會迄延期スルコトニ決定セリ仍ツテ右總會ハ左記ノ項目ヲ第一次討議ノ爲一九三四年總會ノ議題ニ上程スルコトニ決定セリ

一國ヨリ他國ヘ移住スル勞働者ノ爲ノ癡疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ基ク既得ノ權利及取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全

總會議事規則第六條第四項ニ從ヒ事務局ノ作成セシ灰色報告書ハ移民勞働者ノ權利保全ニ關スル國內法令及双務協定ノ規定ヲ檢討セリ尙事務局ガ諸國政府ヘ諮問スル爲提案セシ諸點ハ五部ニ分タレ居レリ 一、國際制度ノ確立、 二、取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全 三、既得ノ權利ノ保全 四、管理上ノ相互援助 五、國際制度ノ實施

委員會ノ編成及役員ノ任命

總會ガ其ノ第四次本會議ニ於テ設置セシ年金權保全委員會ハ、三十二名ノ委員ヨリ成立シ其ノ中十六名ハ政府側、八名ハ使用者側、八名ハ勞働者側ヨリ出デタリ

委員會ノ役員及書記左ノ如シ

委員長——伊太利政府代表「アンセルミ」氏

副委員長——佛蘭西使用者側顧問「フォルデュロン」氏

佛蘭西勞働者側顧問「ブイソン」氏

報告委員——「チエツコスローザアキヤ」政府顧問「ステルン」氏

事務總長代理——「テイキジエ氏」

専門委員——「スタイン」氏及「フロ」氏

書記——「アブラムソン」氏及「スタツク氏」

委員會ハ十五回ニ亘リ會議ヲ開催シ總會ノ提案セル諸點ヲ悉サニ審議セリ

一 國際制度ノ確立

一、本議題項目ノ字句ハ諸國政府ガ左記ノ二ノ問題ニ付諮問セラルベキ旨ヲ指示ス

(イ) 取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全

(ロ) 既得權ノ保全

癱疾、老齡、及寡婦孤兒保險ニ關スル國內法令ノ大多數ハ年金付與ノ一條件トシテ取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全セラレタルコトヲ要求ス是等ノ國內法令ニ依レバ癱疾又ハ寡婦孤兒年金ノ付與ハ又時ニハ老齡年金ノ付與モ亦資格期間ノ完了及取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全ヲ條件トナサル

資格期間モ完了スヘク且取得ノ中途ニ在ル權利モ亦保全セラレベシト爲ス同時的要求ハ移民ノ場合、具備シ難キコトヲ屢々示セリ他國ヘノ出發ノ當時勞働者ガ出國セントスル國ニ於テ未ダ資格期間ヲ完了シ居ラザル場合、該勞働者ニ開カルル唯一ノ措置ハ資力ガ許セバ當該國ニ於テ保險ヲ繼續スル

コトナルベシ蓋シ然カセザレバ自己ニ關シテ從來支拂ハレタル釀出金ニ付テノ權利ヲ悉ク喪失スベケレバナリ、加之出發ノ當時既ニ資格期間ヲ完了シ居ル場合ト雖モ依然出國セントスル國ニ於テ爾後ノ支拂ニ依リ其ノ權利ヲ維持スルコト必要ナルヘシ、然レドモ入國セントスル國ニ於ケル保險制度ハ出國セントスル國ニ於テ移住者ノ勘定ノ貸方ニ記入セラレタル釀出金ニハ何等考慮ヲ拂ハザルコトアルベク、右制度ハ右制度ニテ自己ノ規定ニ基ク資格期間ノ完了ト權利ノ保全ヲ要求スルヤモ知レズ事實斯クノ如キ事態ハ瀕發シ其ノ結果移住者及其ノ家族ニ不當ナル困難ヲ加フ斯クノ如キ事態ヲ避クル爲ニハ取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全ノ爲國際制度ヲ組織セザルベカラズ

既得ノ權利ノ保全ハ苟モ正當ニ保險制度ト呼バルルモノニ在リテハ固有ノモノナリ蓋シ保險給付ハ嚴密ナル法律上ノ權利ニ依リテ支拂ハルベキヲ以テナリ然レドモ多數ノ制度ノ下ニ於テハ右原則ノ適用ハ就中外國ニ居住スル年金者ノ場合ニ於テ種々ノ制限ヲ受ク年金ノ繼續ニ付テハ給付義務アル保險機關ノ委任ヲ條件ト爲サルコトアルベク又ハ年金ガ其ノ資本額ヨリ少キ一時金ニ代ヘラルルコトアルベク又ハ全部若ハ一部停止セラルルコトアラサレバ居住國ヲ變フル社會保險年金受給者ノ爲、既得權ノ保全ノ原則ヲ國際的ニ確立スルコトハ極メテ望マシキコトナリ

取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全ノ爲即時實施シ得ル如キ國際制度ヲ確立スル可能性ニ關シテ諸國政府ノ意見ヲ求ムル爲事務局ハ左記ノ原文ヲ提案セリ

一、一國ヨリ他國へ移住スル労働者ノ爲強制癩疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ基キ

(イ) 取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全

(ロ) 既得ノ權利ノ保全

ヲ組織スル爲國際制度ヲ確立スルノ原則

委員會ハ四ノ修正案ノ審議ヲ要シタリ

第一ノ修正案ハ事務局原案ノ「一國ヨリ他國ニ移住スル労働者」ナル字句ヲ左記ノ字句ニ變へテ擴張セントスルモノナリキ

二又ハ三以上ノ國ニ於テ相次ギテ保險セラルルカ若ハ居住スル者又ハ給付義務アル保險機關ノ設置セラレ居ル國ノ外ニ居住スル者ノ爲及斯ル者ノ被扶養者ノ爲

之ニ反シテ第二ノ修正案ハ「一國ヨリ他國ニ移住スル労働者ノ爲」ナル字句ヲ事務局原案ヨリ削除スヘシト爲ス趣意ノモノナリキ

第三ノ修正案ノ目的ハ居住(Their residence)ナル字句ニ代フルニ「勞務(企業、事務、職務、職業)ノ場所」ヲ以テスルニ在リタルガ此ノ修正案ハ提案者ニ依リテ撤回セラレタリ

委員會ハ最初ノ二修正案ヲ容レズ二十二票對零ニテ事務局原案ヲ採擇セリ

然レドモ委員會ハ二十一票對二十票ニテ、既得權ノ保全ハ釀出制年金ノミナラズ無釀出制年金ニモ

適用セラルベシトノ趣旨ノ労働者側委員ノ提案セシ字句ヲ事務局原案ヲ附加スルコトニ決定セリ

討議中、事務局ハ或ル労働者側委員ノ質問ニ回答シ事務局ハ權利ノ保全ノ爲ノ制度ノ範圍ハ國境労働者ヲ包含スル旨ヲ明カニセリ

委員會ニ依リ決定セラレタル第一點ノ最終文左ノ如シ

一、一國ヨリ他國へ移住スル労働者ノ爲強制癩疾、老齡及寡婦孤兒保險ニ於テ

(イ) 取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全

(ロ) 既得ノ權利ノ保全(無釀出制年金ヲ含ム)

ヲ組織スル爲國際制度ヲ確立スルノ原則

二 取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全

い—國際制度ノ下ニ於ケル受益者

二、受益者ノ定義

先ヅ最初ニ制度ガ適用セラルル者ノ種類ヲ限定スルコト必要ナリシヲ以テ事務局ハ左ノ原案ヲ提案セリ

國際制度ヲ採用スルニ又ハ三以上ノ締盟國ニ於ケル保險機關ニ相次ギテ加入スル労働者及斯ル勞

働者ノ被扶養者ニ對シ右制度ヲ適用スルコト

此ノ原案ハ委員會ニ依リ可決セラレタリ

三、受益者ノ國籍

勞働者ノ政治的地位ハ前ノ點ニ包含セララルル限定以上ニ受益者ヲ限定スル標準トシテ之ヲ使用スルコトヲ得、例ヘバ國際制度ノ利益ハ國籍ヲ問ハズ一切ノ者ニ利用シ得ルニハ非ズシテ唯國際制度ヲ採用スル締盟國ノ國民ニ限リ之ヲ利用セシムルコトヲ得此ノ理由ヲ以テ事務局ハ國際制度ノ下ニ於ケル受益者ノ國籍ニ關スル特別ノ點ヲ挿入セシナリ

三、受益者ノ國籍

(イ) 國籍ヲ問ハズ一切ノ者ニ對シ

(ロ) 又ハ國際制度ヲ採用スル締盟國ノ國民タル者ニノミ

國際制度ヲ適用スルコト

或ル政府側委員ハ事務局原案ニ更ニ左ノ一項ヲ加フルコトヲ提案セリ

(ハ) 又ハ(ロ)項ガ採擇セラレタル場合ハ、國籍ヲ有セザル者ニ對シテモ亦

委員會ハ二十二票對六票ヲ以テ此ノ修正案ヲ採擇セリ

次デ右ノ如ク敷衍セラレタル第三點ハ二十二票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

ろ——保險期間ノ通算

四 權利保全ノ爲ノ通算

國際制度ハ先ヅ第一ニ取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全ヲ容易化スルヲ要ス若干ノ保險制度ノ下ニ在リテハ各醜出金ガ据置年金ヲ購フベキ一回拂保險料ニ相當シ各醜出金ノ効力ハ爾後ノ拂込ニ關係ナク無制限ナリサレド他ノ一切ノ保險制度ノ下ニ在リテハ醜出金ノ効力ハ所定期間中ノミ自動的ニ保全セララル蓋シ是等保險制度ノ財政上ノ安定ハ醜出金ガ被保險者ノ勞働生活中規則的ニ被保險者ニ關シテ拂込まルルコトヲ前提トスレバナリ斯クノ如キ制度ノ下ニ在リテハ被保險者ノ勘定ノ貸方ニ記入セラレタル醜出金ハ給付ニ對スル無條件的權利ヲ與フルモノニハ非ズシテ單ニ權利ヲ取得スル可能性ヲ與フルノミ而シテ右權利ノ取得ハ右醜出金ノ効力ノ保全ヲ條件トスルモノナリ

從ツテ最初ニ取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全ノ爲保險期間ノ通算ノ原則ヲ規定シ然ル後ニ通算セラレベキ期間ヲ明示スルコト必要ナリ

事務局ハ左記ノ「原文」ヲ提案セリ

四、關係アル各保險機關ニ對スルモノトシテノ取得ノ中途ニ在ル權利ヲ保全スル爲

醜出金期間

(イ) 及ビ醜出金ハ拂込マザルモ左記ニ依リ權利ノ保全セララルル期間

(ロ) 及ビ醜出金ハ拂込マザルモ左記ニ依リ權利ノ保全セララルル期間

一、關係アル機關ノ少クトモ一ノ法律

二、又ハ關係アル特定機關ノ法律

(ハ) 及ビ關係アル他ノ機關ニ依リ年金ノ支拂ハルル期間

或ル政府側委員ニ依ル修正案ガ唯一ツ提案セラレタルノミナリキ其ノ趣旨ハ事務局原案ノ(ハ)項ハ左ノ項ニ換置セラルベキナリトナスナリキ

(ハ)及ビ

(一) 他ノ締盟國ノ癱疾、老齡及寡婦孤兒保險機關ニ依リテ年金ノ支拂ハルル期間

(二) 年金又ハ其ノ他ノ現金給付ガ他ノ締盟國ノ社會保險ノ他ノ部門ニ依リ支拂ハルル期間(但

シ當該締盟國ノ社會保險ニ依リ支拂ハルル對當ノ年金又ハ其ノ他ノ現金給付ガ取得ノ中途ニ在ル權利ヲ保全スル限リトス)

此ノ修正案ノ目的ハ一又ハ二以上ノ國ノ保險機關ニ依リ老齡、癱疾又ハ寡婦孤兒年金ノ支拂ハルル期間ノミナラズ關係國ノ何レカ一ノ保險ノ他ノ部門例ヘバ災害保險制度ニ依ル給付ノ支拂ハルル期間ヲ包含メントスルニ在リ

此ノ修正案ハ「他ノ締盟國」ナル字句ノ前ニ「國際制度ヲ採用スル」ナル字句ヲ挿入スルコトトシタルノミニテ二十九票對零ニテ採擇セラレタリ

右ノ如ク修正セラレ敷衍セラレタル事務局原案ハ三十四票對零ヲ以テ採撰セラレタリ

五 資格期間ヲ計算スル爲ノ通算

尙通算ハ資格期間ノ計算又ハ特別給付受給資格ニ付規定セララルル釀出金回数ノ計算上ニモ行ハルルモノナリ、資格期間又ハ特別給付受給資格ニ關スル特別條件ガ滿サレ居ルカ否カラ決定スル必要アル各保險機關ハ自己ノ法律ノ下ニ過サレタル期間ノミナラズ國際制度ヲ採用スル他ノ締盟國ノ法律ノ下過サレタル期間ヲモ亦計上ス

茲ニ於テモ先ヅ資格期間ヲ計算スル爲ノ通算ノ原則ガ規定セラレ次イデ計上セラルベキ期間ガ限定セラルベキナリ、事務局ハ左ノ原案ヲ提案セリ

五、關係アル各保險機關ニ對スルモノトシテノ資格期間(保險加入義務ノ最短期間)又ハ特別給付ノ受給資格ニ付規定セラルル釀出金回数(最低保障年金)ヲ計算スルハ左記ヲ通算スルコト

(イ) 釀出期間

(ロ) 及釀出金ハ拂込マレザルモ關係アル機關ノ少クトモ一ノ法律ニ依リ資格期間又ハ所定ノ釀

出金回数ヲ計算スル上ニ計上セラルル期間

委員會ハ(ロ)項ハ第四點ノ(ロ)項ニ付既ニ承認セラレタルト同一ノ形式ニ書カルベシトナス使用者側委員ノ提案ヲ三十四票對零ヲ以テ可決セリ

(ロ)項ノ一ヲ削除セントスル修正案ハ撤回セラレタルヲ以テ委員會ニ依リ確定セラレタル第五點ノ最終文ハ左ノ如シ

五、關係アル各保險機關ニ對スルモノトシテノ資格期間(保險加入義務ノ最短期間)又ハ特別給付ノ受給資格ニ付規定セララルル釀出金回数(最低保障年金)ヲ計算スルニハ左記ヲ通算スルコト

(イ) 釀出期間

(ロ) 及釀出金ハ拂込マレザルモ左記ニ基キ資格期間又ハ所定ノ釀出金回数ヲ計算スル上ニ計上セララルル期間

(一) 關係アル機關ノ少クトモ一ノ法律

(二) 又ハ關係アル特定ノ機關ノ法律

六 職業保險制度

多數ノ國ニハ鑛夫及海員ノ如キ特定ノ職業ニ使用セララルル者又ハ給料被用者若ハ知識勞働者ノ如キ特定ノ社會階級ニ屬スル者ノ爲ニ設立セラレタル特殊保險制度アリ是等保險制度ニ在リテハ一般制度ヨリ一層價值アル給付ガ規定セラレアルモ釀出金モ亦之ニ準ジテ高シ一般制度ヨリ特殊制度ニ移ルコトガ特殊制度ヲ損フ如キ效果ヲ及ボサザルヲ要ス一般制度及特殊制度ノ下ニ於テ相次ギテ保險セラレタル勞働者ニ付一般制度ノ下ニ於テ費サレタル期間ヲ其ノ儘彼レノ勘定ノ貸方ニ記入スルコトヲ

得トセバ右勞働者ハ繼續的ニ特殊制度ノ下ニ於テ保險セラレタル者ヨリモ良キ待遇ヲ受クルコトトナル内シ茲ニ於テカ國內的範圍並ニ國際的範圍ニ於ケル衡平ノ問題ヲ生ズ

年金又ハ或ル特別給付ニ對スル權利ニ付一切ノ保險期間ガ特殊保險制度ニ依リ包含セララルル職業ニ於テ費レタサルルコトノ條件ガ附セララルルトキハ通算ノ原則ニ變更ヲ加フベキニ非ザルヤ否ヤヲ確ムル爲事務局ハ左記ノ原案ヲ提案セリ

六 職業保險制度

關係アル締盟國ノ一ノ國內法ガ給付付與ノ條件トシテ一切ノ期間カ特殊保險制度(例ヘバ給料被用者保險、鑛夫保險)ニ包含セララルル職業ニ於テ費サレタルコトヲ要求スル場合ノ制限

資格期間又ハ所定ノ釀出金回数ヲ計算スルニハ關係アル他ノ締盟國ノ對當ノ特殊保險制度ノ下ニ於テ費サレタル期間ノミ通算セララル

此ノ點ニ關スル第一ノ修正案ノ趣旨ハ「一切ノ」ナル字句ハ事務局原案ヨリ削除スベシトナスモノニシテ右修正案ハ三十票ヘ零ヲ以テ採擇セラレタリ

一般制度ヨリ特殊制度ニ移ル移住者ガ少クトモ一般制度ノ給付ト等シキ給付ヲ取得スルコトヲ確保スル目的ヲ以テ提案セラレタル修正案ハ委員會ニ依リ採擇セラレザリキ

次イデ委員會ハ三十二票對零ヲ以テ「一切ノ」ナル字句ヲ削除セル事務局原案ヲ採擇セリ

尙職業保險制度ニ關聯シテ一政府側委員ニ依リテ動議セラレタル左記ノ修正案ニ一言セザルベカラズ

特定ノ職業ニ對シ特殊制度ノ存在セザル國ニ於テハ對當セザル制度ノ下ニ在ル當該職業ニ於テ費サレタル期間ハ資格期間ノ計算上通算セラル

討論中他ノ政府側委員ハ「セラル」ナル字句ヲ「セラルベク又ハセラルルコトヲ得」ニ變フルコトヲ提案セリ

右ノ變更ヲ加ヘテ委員會ハ二十八票對零ヲ以テ右修正案ヲ採擇セリ採擇セラレタル修正案左ノ如シ
 六イ)或ル國ニ特定ノ職業ニ對スル特殊制度ガ存在セザルトキハ對當セザル制度ノ下ニ在ル當該職業ニ於テ費サレタル期間ハ資格期間ノ計算上通算セラルベク又ハセラルルコトヲ得

七、權利ノ回復及任意保險ニ加入スル權利ノ爲ノ通算

特定ノ期間ニ限り釀出金ノ効力ヲ保全スル法律ハ保險ヲ止メタル者ノ爲既ニ消滅セル權利ヲ回復スルノ機會ヲ與フルヲ一般トス即チ新ニ釀出金ヲ支拂ハバ右權利ハ回復セラルルモノトス保險期間ノ通算ハ既ニ無効トナリタル權利ノ回復ノ爲ニモ行ハルベキハ極メテ當然ナリ

通例、任意保險ヘノ加入ハ申込人ガ既ニ強制保險ニ於テ所定ノ最低回数ノ釀出金支拂ヲヒタルコトヲ證明シ得ル場合ニノミ許容セラルル其ノ目的トスル處ハ貸銀稼得者トシテ使用セラレタルコトナキカ

又ハ通常使用セラレ居ラザル者ノ加入ヲ防止スルニ在リ然レドモ出國セシ國ニ於テ多年保險セラレ居リタル移民勞働者ヲ任意保險ヨリ除外スルコトハ正當ナラザルベシ此ノ理由ヲ以テ保險期間ノ通算ハ任意保險ニ加入スル權利ヲ決定スル上ニモ之ヲ行フヲ望マシトス事務局ノ提案左ノ如シ

七、第五點及第六點ノ原則ヲ保險ノ他ノ關係特ニ左記ニ付適用スルコト

(イ) 權利ノ回復

(ロ) 任意保險ニ加入スル權利

委員會ハ右ノ原案ヲ二十八票對零ニテ採擇セリ

八、競合的期間ノ計算

二又ハ三以上ノ國ニ於テ同時ニ費サレタル保險期間ハ通算ニ當リテハ唯一回ノミ計上セラルベキナリ此ノ規則ナカリセバ移住者ハ他ノ被保險者ヨリ迅速ニ資格期間ヲ完了スルコトヲ得ベシ
 委員會ハ三十一票對零ヲ以テ事務局原案ヲ採擇セリ

八、競合的期間ノ計算

二又ハ三以上ノ締盟國ニ於テ同時ニ費サレタル釀出金期間及類似ノ期間ハ通算ノ爲ニハ一回ノミ計上セラル

九、短期間ノ除外

若干ノ條約ハ通算ノ場合同一ノ機關又ハ一國內ノ若干ノ機關ニ於テ費サレタル期間ニシテ所定ノ最
短期間ヲ超ユルモノノミヲ計上ス此ノ制限ハ單ニ管理ノ便宜上設ケラル此ノ慣習ニ關シ事務局ハ左記
ヲ提案セリ

九、短期間ノ除外

通算ニハ當該保險機關ニ於テ費サレタル期間ガ最短限度(例ヘバ百五十釐出金日又ハ二十六釐出
金週)ヲ超ユルトキニノミ計上セラル

右ニ關シテハ三修正案ガ提出セラレタリ

第一ノ修正案ハ事務局原案ニ與ヘラレタル例示ニ於ケル數字ガ半減セラルベキコトヲ提案セリ

第二ノ修正案ハ第一ノ修正案ト同様政府側委員ニ依リ提案セラレ其ノ趣旨ハ「期間ガ」ノ次ニ「通
計シテ」ナル字句ヲ加フベシトナスモノナリ委員會ハ此ノ提案ヲ二十四票對一票ニテ採擇セリ

第三ノ修正案ノ目的トスル處ハ「當該保險機關ニ於テ」ナル字句ニ代フルニ「特定ノ廢疾、老齡及
寡婦孤兒保險制度ノ下ニ」ヲ以テスルコトナリ

此ノ修正案ガ導因トナツテ「又ハ專ラ特定ノ機關ニ於テ」ナル字句ヲ之ニ加フベシト爲ス提案ガ提
出セラレタリ

是等修正案ハ悉ク委員會ニ依リ可決セラレ結局最終文ハ左ノ如クナレリ

九、短期間ノ除外

通算ニハ特定ノ廢疾、老齡及寡婦孤兒保險制度ノ下ニ於テ又ハ專ラ特定ノ保險機關ノ下ニ於テ費
サレタル期間ガ通計シテ最短限度(例ヘバ七十五釐出金日又ハ十三釐出金週)ヲ超ユルトキニノミ
計上セラル

ハ——各保險機關ノ給付義務ノ決定

十 請求者ノ權利ノ各機關ニ依ル決定

移住者ニ關シテ釐出金ヲ受取リタル各保險機關ハ一切ノ保險期間ヲ考慮シ請求者ガ所定ノ資格條件
ヲ具備セルヤ否ヤヲ自己ノ法律ノミニ依リテ決定ス、事務局ニ依リテ提案セラレタル權利ノ保全ノ方
法ハ各保險機關ハ保險期間ヲ通算シナガラモ、猶自己ノ法律ノミヲ適用スベシトナス原則ヲ特色トス
事務局提案左ノ如シ

十 請求者ノ權利ノ各機關ニ依ル決定

各機關ハ計上セラルベキ期間ヲ通算シナガラモ、請求者ガ所定ノ資格條件ヲ具備スルヤ否ヤヲ自
己ノ法律ノミニ依リテ決定ス

此ノ原案ハ何等ノ討論ヲモ惹起セズ二十一票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

十一 各機關ニ支拂ノ義務アル給付

各機關ハ請求者ガ自己ノ法律ニ依リテ定メラルル資格條件ヲ具備スルトキハ支拂フベキ給付額ヲ自己ノ法律ニ依リテ計算ス右計算ヲ爲ス上ニハ移住者ガ右機關ニ於テ費シタル期間ノミヲ考慮ス

給付ノ構成分子ハ夫々ノ機關ニ拂込マルル釀出金ニ應ジ異ルニセヨ第十點ノ原則ニ依リ結局給付義務ハ關係アル機關ノ間ニ公平ニ分配セラルルコトナルベシ然レドモ右原則ハ拂込マルタル釀出金回数又ハ釀出金額ニ關係ナク定メラルル給付又ハ給付ノ構成分子ヲ支拂フ機關ガ關係機關中ニ存スルトキハ最早適切ナラザルヘシ移住者ノ爲ニモ公平ナレバ同時ニ又他ノ被保險者ニモ受容レラルル措置ヲ得ル爲ニハ固定給付ヲ保險加入期間ニ應ジテ異ル給付ト同様ニ取扱フコト必要ナリ換言スレバ、右機關ハ保險加入期間ニ關係ナク決定セラルル給付又ハ給付ノ構成分子ニ關シ當該機關ノ法律ノ下ニ過サレタル期間ガ關係アル一切ノ機關ノ法律ニ依リテ費サレタル期間ニ對シテ持ツ割合ニ對當スル部分ダケヲ支拂フコトヲ許サルベキナリ

事務局提案ノ原案左ノ如シ

十一、拂込マルタル釀出金額ニ應ジテ異ル給付ヲ支拂フ各保險機關ノ給付義務

(イ) 保險加入期間ニ應ジテ變化スル給付

各保險期間ハ請求者ガ資格條件ヲ具備スルトキハ自己ノ法律ノ下ニ費サレ且給付ノ計算上計上セラルル期間ノミヲ考慮シ自己ノ法律ニ從ヒテ支拂フベキ額ヲ決定ス

(ロ) 保險加入期間ニ關係ナク定メラルル給付

此ノ場合ニ於テハ拂込マルタル釀出金額又ハ釀出金回数(資格釀出金ヲ除ク)ニ關係ナク定メラルル給付又ハ給付ノ構成分子ニ關シ當該機關ノ法律ニ依リ費サレタル釀出金期間ガ給付額ノ計算上算入セラルル期間ノ全體ニ對シテ有スル割合ニ相當スル部分ダケ支拂フ義務アリ

(釀出金回数及釀出金額ニ關係ナク定メラルル給付又ハ給付ノ構成分子ノ例、一切ノ年金受給者ニ對シ同率ナル年金、保險加入期間ニ關係ナク定メラルル固定額又ハ基本額、固定補助金、最低保障年金又ハ手當)

或ル使用者側委員ハ事務局原案ノ「拂込マルタル釀出金額ニ應ズル」ナル字句ヲ削除スルコトヲ求メタリ從ツテ第十一點ノ冒頭ハ左ノ如クナルモノナリ

左記ノ如ク計算セラルル給付ヲ支拂フベキ各保險機關ノ義務

此ノ新ナル提案ハ最初ヨリ計算ノ方法ニ觸レザル長所ヲ有スルガ三十七票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

或ル政府側委員ハ(イ)項及(ロ)項ニ於ケル「給付」ナル字句ノ後ニ「(給付ノ構成分子)」ナル字句ヲ挿入スルコトヲ提案セリ此ノ提案ハ異議ナク採擇セラレタリ

政府側委員數名ニ依リ作成セラレタル二ノ修正案ハ釀出期間ト給付ノ計算上計上セラルル期間トノ

差異ニ關スルモノナリキ後者ハ釀出期間及之ニ類スル期間ノ兩者ヲ包含ス、是等修正案ノ提案者ハ第十一點ノ規則ハ計算ノ基礎ヲ釀出期間ニ置クカ又ハ給付ノ計算上計上セラルル期間ニ置クカニ從ヒ二ノ相異ル結果ヲ生ズベク且是等要素ヲ同時ニ取扱ハザルコト緊要ナル旨説明セリ

是等二ノ修正案ハ次ノ字句ニ於テ結合セラレタリ

第十一點(ロ)「此ノ場合ニ於テハ——義務アリ」ニ代フルニ左ノ字句ヲ以テスベシ

此ノ場合ニ於テハ保險加入期間(資格期間ヲ除キ)ニ關係ナク定メラルル給付又ハ給付ノ構成分子ノ左記ノ割合ニ相當スル部分ノミガ支拂ハルベキナリ

(一) 當該機關ノ法律ニ從ヒ給付ヲ計算スル上ニ計上セラルル期間ガ給付ノ計算上計上セラルル期間ノ全體ニ對シテ有スル割合又ハ

(二) 當該機關ノ法律ニ從ヒ費サルル釀出金期間ガ關係アル一切ノ機關ノ法律ニ從ヒ費サルル釀出金期間ノ全體ニ對シテ有スル割合

此ノ提案ハ三十票對零ニテ採擇セラレタリ

勞働者側委員ハ左記ノ新ナル項ヲ加フルコトヲ提案セリ

如何ナル場合ニ於テモ移住者ノ受領スル給付ハ關係アル保險機關ニ依リ通常付與セラルル給付ヨリモ少ナカラザルベシ

此ノ修正案ヲ支持シテ其ノ提案者ハ移住者ガ其ノ居住スル最後ノ國及從前保險セラレ居リタル以前ノ國ニ於テ既ニ拂込ミタル釀出金ニ對當スル給付ヲ其ノ居住スル最後ノ國ニ於テ受領スルコト必要ナリト説明セリ

委員會ハ事務局原案ノ第十五點ニ掲ゲラレタル保護的條項ノ字句以上ニ出ヅルコトハ困難ナルベシト思惟シ仍テ右修正案ヲ否決セリ

或ル政府側委員ハ若干ノ法律ニ於テハ給付ノ全額ガ保險加入期間ニ應ジテ異リ且固定分子ガ包含セラレ居ラザルコトヲ指摘セリ斯ル場合ニ於テハ給付ノ一部ヲ資格期間ノ完了後即時支拂ハルベキモノトナル固定分子ノ如ク取扱フベキナリ

委員會ハ諸點ハ斯クノ如キ場合ニ付一一煩ハシク言及スベキニ非ズシテ是等ノ場合ニ付テハ質問書ニ對スル諸國政府ノ回答ニ俟ツベキナリトナス事務局ノ提案ニ賛成セリ

第十一點全體ハ結局左記ノ字句ヲ以テ三十票對零ニテ採擇セラレタリ

十一、左記ノ如ク計算セラルル給付ヲ支拂フベキ各保險機關ノ義務

(イ) 保險加入期間ニ應ジテ變化スル給付(給付ノ構成分子)

各保險機關ハ請求者ガ資格條件ヲ具備スルトキハ自己ノ法律ノ下ニ費サレ且給付ノ計算上計上セラルル期間ノミヲ考慮シテ自己ノ法律ニ從ヒ額ヲ決定ス

(ロ) 保險加入期間ニ關係ナク決定セラルル給付(給付ノ構成分子)

此ノ場合ニ於テハ保險加入期間(資格期間ヲ除ク)ニ關係ナク定メラルル給付又ハ給付ノ構成分子ノ左記ノ割合ニ相當スル部分ノミ支拂ハルベキナリ

(一) 當該機關ノ法律ニ基ク給付ノ計算上計上セラルル期間ガ一切ノ關係機關ノ法律ニ基ク給付ノ計算上計上セラルル期間ノ全體ニ對シテ有スル割合

(二) 又ハ當該機關ノ法律ニ從ヒテ費サルル釀出金期間ガ一切ノ關係機關ノ法律ニ從ヒテ費サルル釀出金期間ノ全體ニ對シテ有スル割合

(釀出金回数及釀出金額ニ關係ナク決定セラルル給付又ハ給付ノ構成分子ノ例、一切ノ年金受給者ニ對シテ同率ナル年金、保險加入期間ニ關係ナク決定セラルル固定額又ハ基本額、固定補助金、最低保障年金又ハ手當)

或ル政府側委員ハ年金ガ貸銀ニ基キテ計算セラルル場合ニ應ズル爲右ニ採擇セラレタル原則ニ何等カ附加スベキコトヲ指摘セリ給付ヲ計算スル場合ニハ各機關ハ外國ニ於テ受クル貸銀(適用困難ト思惟セラルルガ)又ハ當該保險機關ノ國ニ留リ居リタルモノトセバ受ケタルナルベキ貸銀又ハ年金ヲ付與スル國ニ居住スル間實際ニ受クル貸銀ノ何レヲ基礎トスルモ可ナリ

委員會ハ諸國政府ニ送付スヘキ質問書ニ此ノ事ヲ述ブベキナリト思惟セリ

或ル使用者側委員ハ各國ニ於テ取得ノ中途ニ在ル權利ノ保全ノ方法ノ外ニ取得ノ中途ニ在ル權利ニ相當スル資金ヲ移讓スル方法ヲ認ムベキナリト提案セリ

右委員ノ修正案左ノ如シ

被保險者ノ出發ノ日ニ於テ取得ノ中途ニ在ル權利ニ該當スル資本ヲ爾後被保險者ニ對シテ責ヲ負フベキ保險機關ニ對シ移讓スルコト

事務局ハ取得ノ中途ニ在ル權利ニ該當スル資本ノ移讓ノ方法ハ實際上保險數學及經理ノ性質ヲ有スル困難ヲ惹起スベシト説明セリ此ノ方法ハ或ル場合ニハ實際的ナレドモ之ヲ一般ニ適用セントスルトキハ克服シ難キ困難ニ遭遇スベシ之コソ實ニ今後採擇セラルベキ權利ノ保全ノ方法ノ選擇ニ付諸國政府ニ諮問セシトキ大多數ノ回答ヨリ得シ結論ナリ是等説明ニ鑑ミ右修正案ハ提案者ニ依リ撤回セラレタリ

十二、公ノ基金ヨリ支拂ハルル補助金、附加金又ハ手當

公ノ機關ヨリノ釀出ニ付テハ一般被用者又ハ筋肉勞働者ヲ包含スル殆ド一切ノ保險制度ニ規定アリ公ノ機關ヨリノ釀出ガ各被保險者ニ關シテ拂込マルル釀出金ニ比例スル補助金ノ形式ヲ採ル限リニ於テハ何等ノ困難モ生ゼザルナリ各國ハ其ノ支拂ノ義務アル補助金ヲ自己法律ニ依リ拂込マルル釀出金回数及釀出金額ニ比例シテ計算ス補助金又ハ附加金ガ保險加入期間ニ關係ナク決定セラルルトキハ

第十一點ノ減額原則ヲ如何ニ適用スベキヤノ問題ヲ生ズ

事務局ノ原案ハ左ノ如シ

十二、第十一點(イ)及(ロ)ノ原則ヲ全部又ハ主トシテ公ノ基金ヨリ拂込マルル補助金、附加金又ハ手當ニ適用スルコト

右原案ハ三十四票對零ニテ採擇セラレタリ

十三、一機關ノミニ給付義務アル場合ニ於ケル減額原則ノ適用

通常減額ノ原則ハ二國又ハ三國以上ノ保險機關ガ同時的ニ一人ノ移住者ニ對スル年金ノ分擔金ヲ支拂フコトヲ要求セラルル場合ニ適用セラルル此ノ減額原則ハ請求者ガ一機關ヨリシカ給付ヲ受クル權利ヲ有セザル場合ニモ亦適用セラルルヤ否ヤヲ確カムル爲事務局ハ左ノ原案ヲ提案セリ

十三、請求者ガ一保險機關ヨリシカ給付ヲ受クル資格ヲ有セザル場合ニ第十一點ノ原則ヲ適用スルコト

(イ) 保險期間ガ通算セラルル場合ニ於テモ
(ロ) 通算セズニ單ニ當該機關ノ法律ニ基キ

若干ノ討論ノ末二項ヲ一ツ宛別箇ニ表決ニ付スルコトニ決定セラレタリ

(イ)項ハ三十六票對零ニテ採擇セラレ(ロ)項ハ十八票對十三票ニテ否決セラレタリ

最終文ハ仍ツテ左ノ如シ

十三 保險期間ガ通算セラルルモ猶請求者ガ一ノ保險機關ヨリシカ給付ヲ受クル權利ヲ有セザル場合ニ第十一點ノ原則ヲ適用スルコト

十三(イ)

委員會ニ依リテ採擇セラレタル第十三點ノ原案ヲ補充スル爲或ル政府側委員ハ左記ノ新シキ點ヲ挿入スルコトヲ提案セリ

保險事故發生セシ場合ニ被保險者ガ最後ニ保險ヲ受ケタル機關ノ下ニ於テ費シタル期間ニ依リ最大限度ノ年金ヲ受クル資格ヲ有スルトキハ第十一點(ロ)ノ原則ニ依リテ減額ヲ行ハザルコトヲ得ル當該機關ノ權限

右修正案ノ提案者ハ第十一點(ロ)ノ減額原則ガ適用セラルルコトハ移住者ガ單ニ當該國ノ法律ノ適用ニ依ルノ外完全ナル年金ヲ受クル權利ヲ有セザル如キ國ニ於テハ移住者ニ不利ニナル作用スル虞アルコトヲ指摘セリ仍テ特ニ給付ガ無利率ニテ付與セラルル國ノ意見ヲ求ムル爲此ノ點ニ付諸國政府ニ諮問スルコトハ望マシキコトナリキ

右修正案ハ反對者ナク採擇セラレタリ

十四、特定ノ機關ノ下ニ費サレタル短期間ニハ減額原則ヲ適用セザルコト

大多數、双務協定ハ保險機關ノ下ニ於テ移住者ノ費シタル保險期間ガ全體トシテ極メテ短キトキハ該機關ヨリ一切ノ義務ヲ免除ス然レドモ移住者ノ利益ガ損ハルルコトナキ様或ル機關ガ他ノ機關ノ下ニ於テ費サレタル短期間ニ關シテ給付ノ減額ヲ爲スコトヲ禁ズ

此ノ二重ノ原則ハ移住者ノ損失ヲ全然防止スルモノナリ即チ一機關ヨリノ給付ニ付計算ニ入ラザル期間ハ他ノ機關ニ依リテ考慮セラルレバナリ然レドモ條約ノ中ニハ一機關ノ下ニ於テ費サレタル短期間ガ全體トシテ極メテ短キ場合ハ右機關ヨリ一切ノ義務ヲ免除シ、然モ同一期間ニ關シテ支拂義務アル金額ノ減額ヲ許容スルモノアリ

事務局原案左ノ如シ

十四、特定ノ保險機關ニ於テ費サレタル期間ガ最短期間（例ヘバ三百釐出金日又ハ五十二釐出金週）ニ達セザルトキハ右關係機關ニ給付義務ナキコトトシテ右期間ニ第十一點（ロ）ノ原則ヲ適用セザルコト

或ル使用者側委員ハ事務局原案ガ左ノ如ク書改メラルベキコトヲ提案セリ

十四 特定ノ癱疾、老齡、及寡婦孤兒保險制度又ハ、專ラ特定ノ機關ノ下ニ於テ費サレタル期間ガ通計シテ最短期間（例ヘバ三百釐出金日又ハ五十二釐出金週）ニ達セザルトキハ關係アル機關ニ給付義務ナキコトトシテ第十一點（ロ）ノ原則ヲ右期間ニ適用セザルコト

右修正案ハ三十二票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

同使用者側委員ハ左記ノ新ナル點ヲ挿入スルコトヲ提案セリ

第十四點ノ場合ニ於テハ第十一點（ロ）ニ規定セラルル減額ハ左記ニ基キテ行ハルベシ

- (イ) 一切ノ保險期間（第十四點ニ於テ除外セラレタル期間ヲ包含ス）又ハ
(ロ) 第十四點ニ於テ除外セラレザリシ保險期間

事務局ハ第十四點採擇セラレタルカラニハ、第一ノ機關ガ一切ノ義務ヲ免除セララルル場合 第二ノ機關ハ第一ノ機關ノ下ニ費サレタル期間ニ對當スル給付ニ對シ義務ヲ負フベキヤ否ヤニ付必ず諸國政府ニ諮問スベキ旨ヲ約セリ

此ノ説明ノ結果右修正案ハ撤回セラレタリ

十五 保護條項

大多數ノ双務協定ハ二國ニ於ケル給付ヲ受クル資格ヲ有スル受益者ノ爲特定ノ機關ノ下ニ於テ費サレタル期間ニ關シテ右條約ガ存セザルモノトセバ受クベカリシ給付ニ均シキ合同給付ヲ保障ス 支拂義務アル給付ノ減額ニ依リテ利益ヲ受クベカリシ機關ハ茲ニ於テ右保障金ニ對スル義務ヲ負ハシメラ

此ノ保護條項ハ其ノ適用ニ於テ三以上ノ機關ガ關係アル場合ニ應ズル爲ニハ今少シク敷衍スル必要

事務局提案ノ原案左ノ如シ

十五、保護條項

(イ) 少クトモ二國ニ於ケル給付ヲ受クル權利ヲ有スル受益者ハ關係期間ガ専ラ特定ノ機關ノ下

ニ於テ費サレタルモノトセバ受クベキナル給付ニ均シキ全額給付ヲ保障セラルベキコト

(ロ) 右機關ハ保障ノ效力發生ノ結果支拂ハルベキ補助給付ノ支拂義務ヲ負フベキコト

(ハ) 數箇ノ機關ガ關係アルトキハ右ノ補助給付ハ關係アル機關ノ何レカ一ヨリ受クベキ最高ノ

補助給付ノ額ニ從ヒテ計算セラルベク又、右補助給付ノ支拂義務ハ各箇ノ機關ヨリ各別ニ支

拂ハルベカリシ補助給付ニ比例シテ是等機關ノ間ニ分擔セラルベキコト

或ル勞働者側委員側委員ハ移住者ガ最後ニ保險ヲ受ケタル機關ニ保護條項ニ依ル義務ヲ負ハシムル

爲ノ修正案ヲ提案セリ右提案ノ目的ガ第十八點及第三十四點ヲ變更スルコトニ依リテ達成シ得ザルヤ

否ヤヲ審議スル爲右提案者ト事務局ノ専門委員トガ協議スルコトニ了解ガ着キタル後右修正案ニ關ス

ル表決ヲ延期スルコトニ委員會ハ決定セリ右協議ノ結果ハ是等二點ニ變更ガ加ヘラレ從ツテ右提案者

ハ第十五點ニ關スル其ノ修正案ニ對シ表決ヲ要求セザリキ

或ル政府側委員ハ保護條項ニ從ヒテ支拂ハルベキ補助給付ハ數箇ノ機關ガ關係アル場合ニ於テハ事

務局原案ノ(ハ)項ニ示サルルトハ異ル方法ニテモ計算スルコトヲ得ベキコトヲ指摘セリ事務局ハ此ノ言
ノ真ナルヲ認メタルモ諸國政府ハ其ノ回答ニ於テ補助給付ヲ計算スル他ノ方法ヲ提示スルコトヲ得ベ
シト述ベタリ

事務局原案ハ三十四票對零ニテ採擇セラレタリ

十六 給付全額ノ最高限度

移住者ノ利益ヲ圖ル保護條項ニ對當シテ保險機關ノ利益ヲ保護スル爲ノ條項ガ若干ノ双務協定ニ加
ヘラルルニ至レリ、移住者ニ付與セラルル給付ノ全額ハ被保險者ガ給付ノ計算ニ關シテ被保險者ニト
リ最モ有利ナル法律ヲ有スル機關ノ下ニ其ノ全保險期間ヲ費シタルモノトセバ右機關ヨリ受クルナル
ベキ給付ノ額ニ制限スルコトヲ得、此ノ金額ニシテ給付ノ各割前ノ總和ヨリモ少キトキハ給付ノ各割
前ニ付比例的減額ヲ行フベキナリ

事務局提案左ノ如シ

十六 給付全額ノ最高限度

(イ) 二又ハ三以上ノ國ノ保險機關ニ依リ付與セラルル全額給付ハ計上セラルベキ一切ノ期間ニ

基キ最モ有利ナル法律ヲ有スル機關ヨリ支拂ハルベキ給付ノ額ニ之ヲ制限スルコトヲ得ル權
限

(ロ) 給付ノ各部分ニ比例シテ行ハルベキ減額

右原案ハ三十五票對零ニテ採擇セラレタリ

十七 醫療及看護

若干ノ双務協定ハ看護ニ對スル移住者ノ權利ニ關スル條項ヲ包含ス、保險制度ノ下ニ看護ニ對スル權利ノ存スル限り右權利ノ取得セラレタルヤ否ヤヲ確カムル爲ニハ保險ノ全期間ヲ考慮スルヲ要ス醫療ハ移住者ガ最後ニ保險セラレタル機關又ハ其ノ最後ノ居住地ノ機關ニ依リテ移住者ニ對シ施サレ且其ノ費用ハ右ニ限定セシ機關ニ依リテ負擔セララルカ又ハ移住者ガ相次ギテ關係セシ一切ノ機關ニ依リテ分擔セラル

事務局提案ノ原案左ノ如シ

十七、醫療及看護

(イ) 癱疾ノ理由ニ依リ年金ヲ請求スル權利ヲ有スル者ニ付癱疾ヲ豫防シ延期シ緩和シ又ハ治療スル爲醫療及看護ノ設備ヲ居所ノ保險機關ニ委任スルコトノ可否

(ロ) 醫療及看護ノ費用ニ對シ關係アル他ノ機關ガ分擔スルコトニ關スル原則

右ノ原案ハ三十七票對零ニテ採擇セラレタリ

ニ——給付ノ支拂ニ關スル手續

十八 給付ノ請求ノ提出

移住者ヲシテ一段ト容易ニ其ノ權利ヲ行使セシムル爲若干ノ協定ハ關係アル保險機關ノ中ノ一ニ對シテノミ其ノ給付請求ノ提出ヲ許可ス、右許可無キトキハ移住者ハ其ノ請求ヲ各機關ニ別々ニ提出スルコトヲ餘儀ナクセラル故ニ右ノ便宜ハ移住者ニトリテ貴重ナル特權ナリ事務局ハ之ニ付左ノ如ク述べ

十八 給付ノ請求ノ提出

(イ) 關係アル機關ノ中ノ一ノミニ對シテ (右機關ハ請求ニ記載アル他ノ一切ノ機關ニ通告スルコトトシテ)

(ロ) 又ハ關係アル各機關ニ對シテ各別ニ

或ル政府側委員ハ國際制度ハ移住者ノ要求ナキトキト雖モ適用セララルベシトノ趣旨ノ修正案ヲ提出シタリ事務局ハ國際制度ハ當然適用セララルベキコトヲ説明セリ此ノ説明アリタル後右修正案ハ撤回セラレタリ

第二ノ修正案ハ(イ)項ニ代フルニ左記ヲ以テスル目的ヲ以テ或ル勞働者側委員ニ依リ提案セラレタ

リ

(イ) 居所ノ機關ノミニ對シテ(右機關ハ請求ニ關係アル他ノ一切ノ機關ニ通告スルコトトシテ)

事務局ノ専門委員ノ意見ニ從ヒ提案者ハ其ノ提案ヲ變更シテ事務局原案イ項「一切ノ機關」ナル字句ノ後ニ左記ヲ加フルコトヲ要求セリ

(及特ニ居所ノ保險機關)

右ノ修正案ハ採擇セラレ且斯ク修正セラレタル第十八點ノ全體ハ異議ナク採擇セラレタリ

十九 爲替相場

自己ニ給付義務アル給付ノ額ヲ算定スル場合ニ、保險機關ハ他ノ國ノ保險機關ガ給付義務ヲ負フ給付ヲ考慮スルコトヲ得、是等算定ノ基礎ヲ確實ナルモノタラシムル爲換算條件ヲ精密ニ定ムルコト必要ナリ事務局提案ノ原案左ノ如シ

十九 爲替相場

或ル金額ヲ他ノ締盟國ノ通貨ニ換算スル必要アルトキハ其ノ通貨ヲ以テ右金額ガ表ハサルル締盟國ノ首府ノ外國爲替市場ニ於ケル兩通貨ノ間ノ相場ニ依リ換算セラルルヲ要ス

或ル使用者側委員ガ質問書ニハ爲替相場ノ確メラルベキ日ニ付言及スルコト必要ナルベシト指摘シタル後右原案ハ三十四票ヲ以テ採擇セラレタリ

二十 假給付

移住者ニ支拂フベキ給付ノ決定ハ保險機關ガ如何ニ迅速ニ請求ヲ處理ストモ遲滯スルコトアルベク

其ノ爲受益者ノ困窮スルコトアルベシ此ノ理由ヲ以テ若干ノ條約ハ自己ノ法律ニ依リテ費サレタル保險期間ノミニ依リテ年金ヲ支拂フベキ義務ヲ負フ保險機關ガ假給付ヲ付與スベキコトヲ要求ス、事務局提案ノ原案左ノ如シ

二十、假給付

自己ノ法律ノ下ニ費サレタル保險期間ノミニ基キ年金ヲ支拂フ義務ヲ負フ保險機關ハ決算迄ハ假給付ヲ付與スルコト

或ル勞働者側委員ハ左記ノ字句ヲ削除スル目的ヲ以テ修正案ヲ提出セリ

自己ノ法律ノ下ニ費サレタル保險期間ノミニ依リテ

右修正案ノ提案者ノ意見ニ依レバ事務局ノ原案ハ或ル種ノ機關ヲシテ當然付與スベキ給付ヲ減額セシムル處アリ

或ル政府側委員ハ右勞働者側委員ノ意見ヲ斟酌スベキ第二十點ノ新草案ヲ提案セリ

二十 假給付

決算迄ハ保險機關ハ自己ノ法律ノ下ニ費サレタル保險期間ノミニ依リテ支拂ハルル給付ニ少クトモ均シキ假給付ヲ付與スベキコト

右新草案ハ三十六票對零ヲ以テ採擇セラレタリ

任意規定

二十一 取得ノ中途ニ在ル權利ニ相當スル資金ノ移讓ニ依ル義務ノ履行
殆ド一切ノ双務協定ハ各國ハ移住者ノ相次ギテ保險ヲ受ケタル諸國ノ保險機關ノ間ニ資金ノ移讓又
ハ決算ヲ行ハズニ取得ノ中途ニ在ル權利ヲ保全スベキコトヲ確保スル方法ヲ採用ス權利ノ保全ノ爲ノ
國際制度モ亦同一ノ基礎ノ上ニ置クベキモノノ如ク思惟セラル

然レドモ移住者ノ出發ノ日ニ於テ取得ノ中途ニ在ル權利ニ相當スル資金ノ支拂ニ依リテ義務ヲ履行
スルコトヲ保險機關ガ便宜トスル若干ノ場合モ存在スベシ取得ノ中途ニ在ル權利ニ相當スル資金ノ移
讓ニ依ル義務ノ即時履行ヲ認メテ不都合ナル重大ナル理由ハナキモノノ如シ

事務局提案ノ原案ハ左ノ如シ

二十一、取得ノ中途ニ在ル權利ニ相當スル資金ノ移讓ニ依ル義務ノ履行

被保險者ノ出發ノ日ニ於テ取得ノ中途ニ在ル權利ニ相當スル資金ヲ爾後右被保險者ニ付責任アル機
關ノ承諾ヲ條件トシテ之ニ支拂フコトニ依リ右被保險者又ハ其ノ被扶養ニ對スル給付義務ヲ履行スル
保險機關ノ權限

或ル政府側委員ハ第二十一點ハ全然省略セラルベキコトヲ提案セリ

事務局ハ資金ノ移讓ノ一般的適用ヲ妨グル困難ハ其ノ方法ガ關係機關ノ間ノ協定ニ依リ任意ニ使用

セラルルトキハ發生セザルベシト説明セリ

是等説明ノ後ニ右修正案ハ撤回セラレ且事務局原案ハ二十八票對零ニテ採擇セラレタリ

二十一、(イ) 締盟國ガ協定ニ依リ第十一條ノ原則ニ從ハザルコトヲ得ル權限

或ル政府代表ハ左記ノ新ナル點ヲ挿入スルコトヲ提案セリ

二十一(イ)、各機關ノ法律ニ基ク給付ノ計算上計上セラルル期間ヲ特ニ考慮シテ各機關ノ支拂フ
ベキ給付ヲ計算スル上ニ協定ヲ以テ第十一點ノ原則ニ從ハザルコトヲ得ル締盟國ノ權限

右修正案ヲ支持シテ其ノ提案者ノ曰ク、第十一點ノ原則ハ關係アル數箇ノ機關ニ釀出金ガ拂込マレ
タル日ニ付テハ何等考慮ヲ拂ハザルヲ以テ必ズシモ満足ナルモノニハ非ズ苟モ資金化ノ過程ニ關係ア
ル場合ニハ常ニ其ノ額ノミナラズ資金化ノ行ハレタル日ニ依リテ貸方借方ヲ其ノ都度明白ナラシムル
コト必要ナリ

第十一點ノ原則ハ其ノ性質上理論的ナラズシテ經驗ヲ基礎トセルモノナルニモ拘ハラズ先ヅ先ヅ受
ケ容レ得ル概算ニ相當スル最モ簡單ナル方法ヲ示スモノナリ、然レドモ第十一點ノ方法ト純然タル保
險數學上ノ原理ニ基ク方法ヲ折衷スル他ノ原則ヲ考慮スルモ可ナリ、提案セラレタル修正案ノ採擇ハ
之ニ類スル種々ナル方法ノ究求ヲ促進スルノ好結果ヲ生ズベシ

此ノ主張ニ服シテ委員會ハ二十二票對零ニテ此ノ提案ヲ採擇セリ

三——既得ノ權利ノ保全

廢疾、老齡及寡婦孤兒保險制度ニ於ケル既得ノ權利ハ其ノ所有者ガ所定ノ資格條件ヲ具備スル限り保全セラルベク且一旦付與セラレタル年金ハ給付發生事故ノ結果ガ存續スル限り引續キ付與セラルベキナリ然レドモ給付ノ付與セラレタル情況ノ存續スルニモ拘ハラズ或ル給付ノ支拂ヲ打切ル法律ノ數モ相當ニ上ル從ツテ往々海外ニ居ヲ構ヘル年金受給者ハ引續キ年金ヲ受クルコトニ付居住條件ニ直面シ右年金ノ給付義務アル機關ノ存スル國ニ居住スルコトヲ要求セラル

居住條件ハ國ニ依リテ其ノ適用ヲ異ニス即チ右條件ハ國籍ニ問ハズ一切ノ年金受給者ニ對シテ適用セラルルコトモアルベク又外國人ニ對シテノミ適用セラルルコトモアルベシ何レニシテモ生國ニ歸郷スルノ止ムナキカ又ハ之ヲ希望スル移住者ハ老齡ナルカ又ハ其ノ扶養者ヲ喪失セシ者ノ場合ニ於テハ歸郷ノ希望ガ自然ナルダケニ右ノ條件ヲ極メテ苛酷ナルモノト感ズ

居住條件ガ強制的ニ適用セラルルコトアルベク其ノ場合ニハ關係機關ノ國ニ居住セザルトキハ必然的ニ一切ノ權利ヲ喪失スルノ結果トナル居住條件ガ任意ナルコトアルベク其ノ場合ニハ保險機關ハ非居住者ノ處置ニ付其ノ裁量ニ委ネラル

若干ノ法律ハ居住條件ヲ規定ストモ關係アル保險機關ガ年金受給者ノ海外居住ヲ許可スルトキハ右年金受給者ニ對シ引續キ給付ヲ受ケシム、此ノ外一層嚴格ナルモノアリテ外國ニ移住スル年金者ニ對

シ重大ナル制限ヲ課ス、年金ヲ資本額ヨリモ少キ一時金ニ振替フルコト、公ノ基金ヨリ支拂ハルル補助金又ハ附加金ノ停止、年金ノ全部的停止

是等制限ヲ課スル理由ハ奈邊ニ存スルトカ云フニ實際的困難及海外ニ定期的支拂ヲ爲ス費用、給付義務アル機關ノ國ノ貿易差額ニ及ボス是等支拂ノ影響及給付ヲ付與スル情況ノ存否ヲ確認スルノ困難等ニ存ス

近年契約兩國間ニ居住條件ヲ廢止スルカ又ハ少クトモ其ノ適用ヲ制限スル目的ヲ以テ締結セラレタル相互協定ノ數ハ相當ノ數ニ達ス、斯クテ是等協定ニ於テハ居住條件ハ左記何レカノ爲ニ廢止セラレ

(イ) 契約國ノ何レカ一方ニ居住シ居ル間是等ノ國ノ國民ノ爲又ハ

(ロ) 契約國ノ何レカ一方ニ居住シ居ル間國籍ヲ問ハズ一切ノ年金受給者ノ爲又ハ

(ハ) 居住國ニハ關係ナク契約國ノ國民ノ爲

是等ノ協定ハ原則ノ適用ニ若干ノ制限ヲ課スルモ既得權ノ保全ノ原則ヲ基礎トス、然レドモ廢疾、老齡、及寡婦孤兒保險ニ於ケル既得ノ權利ノ保全ノ無制限的承認ニ基ク一般的國際制度ニ到達スル爲ニ採ルベキ道ヲ指示ス

5——國際制度ニ於ケル受益者

二十二、受益者ノ居所